

南アルプス：仙丈ヶ岳・甲斐駒ヶ岳

- ◆日程 2018年10月6日(土)～8日(月)
 ◆メンバー L：須田(健)、岡村、池本、山田(留)、曲

前日夜発、蒲田駅～大森駅間の沿線火災の影響で、京浜東北線、東海道線が止まってしまい、京急線、横須賀線、山手線もダイヤ乱れまくって、竹橋23時発の毎日アルペン号に乗車するのに、全員5名が一苦勞しました。いつものように篠原さんが竹橋バスターミナルまで見送って頂き、そしてお土産までもいただき、有難う御座います。

10月6日(土) 天候：晴れ

翌早朝4時半過ぎに戸台口・仙流荘着、予定通りに5:30発の林道バスに乗り換えて6:25に北沢峠到着。すぐさま長衛小屋にテントを設営し、7:25に仙丈ヶ岳を目指して登山開始。秋空にそびえる北岳は、堂々とした山容で美しい。歩きから1時間を経った頃、山田さんはお腹が痛いと訴えて、一人でテント場に引き返しました。曲も寝不足のせい、デビュー靴のせい、体が怠い、動きが鈍くなってしまった。

11:35に仙丈ヶ岳に登頂。皆が記念撮影し、仙丈小屋、馬の背ヒュッテ、藪沢小屋経由で下山、テント場に着くのは、15時頃でした。山田さんが元気な姿で私たちを出迎え、一安心しました。夕飯は、池本さんが用意して頂いた鳥鍋です。寝るまで時間がたっぷりあるため、久々にトランプゲームを遊びました。だんだん幸運が岡村さんのところに回ってきまして、革命を何回も起こさせ、とっても面白かったです。(記：曲)

CT：長衛小屋 7:15 - 2 合目 8:00 - 5 合目 9:20 - 小仙丈ヶ岳 10:15 - 仙丈ヶ岳
 11:35-仙丈小屋 11:55-馬ノ背ヒュッテ 13:00-4 合目 14:00-長衛小屋 15:00

10月7日(日) 天候：曇りのち 晴れ

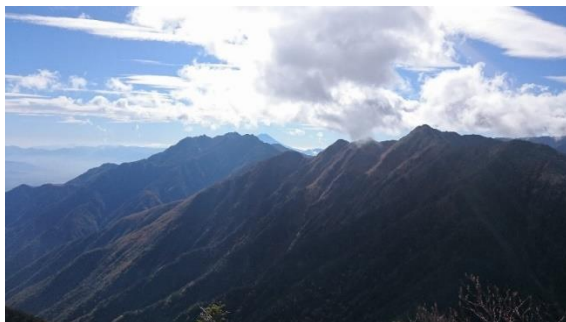


夜中の雨と時折の強風にテントが揺れる。断続的に朝まで続き、起床時間だが残念ながら中止だろうと思いこみウトウトしていた。しばらくして「時間 過ぎてますよ」と声がかかり、みな起きだした(4時半過ぎ)。朝食は岡村さんの中華粥。鶏ささみに中華パンが入り、ごま油香るお腹に優しい味で美味しかった。体が温まった。すっかり明るくなった空は晴れ間が見え、期待を胸に出発する。

沢沿いに堰堤をいくつか越えると、河床に光が差し込みきれいな青色になっていた。仙水小屋を過ぎると視界が開け、登山道の両側に大きな岩がゴロゴロと壁のように広がり、紅葉した木々が美しい不思議な景色となった。仙水峠は強風が吹き抜けていく。見上げると大きく迫力

のある摩利支天と山頂が見えた。雪のように白い山頂部。カッコいい。この先は樹林帯の急登になり、しばらく辛抱が続く。振り返ると鳳凰三山がオベリスクまではっきりと見え、さらには富士山が頭を見せ、これまでの疲れが一気に吹き飛んだ。富士山のパワーはすごい。

駒津峰に着くと、北岳も見え、富士山・間ノ岳と共に標高1・2・3を望むことができた。ハイマツ帯の稜線を登り六方石を過ぎると分岐になり、直登ルートを選択する。大きな岩にやや苦戦しながら乗り越えていくとガレ場となり、山頂が見えるのに強風に阻まれ足が進まない。やっとの思いで山頂に到着した。(甲斐駒は初めての私は、先に山頂を踏ませていただきました)



山頂はそこそこ広く、360°の大展望。駒ヶ岳神社奥社が鎮座する。風が強くと、すぐにガスが上がって視界がなくなっかと思うと、晴れてパノラマが広がり忙しい。写真を撮ったり、篠原さん差し入れのミカンを食べたり、展望を満喫した。

摩利支天を目指して下山を開始する。砂浜のように白いザレ場はガスの中で異国ムードだった。こちらが巻き道ルートになる。登り返しはきつかったが、勇ましい摩利支天に出会い満足した。



下山はガスの中。滑りやすい巻き道を慎重に下り、分岐を経て駒津峰まで戻り休憩をしていると、雷鳥が一羽現れた。腿のあたりが冬毛に生え変わりつつある雷鳥は、人の多さに驚いたのか飛んで逃げてしまった。その後のハイマツ帯でもじっとしている雷鳥と出会うことができた。双児山経由で長い樹林帯を延々と下り、北沢峠まで下山した。

下山後は軽く乾杯をし、テント内で夕食のミネストローネ風ポトフを食べ、トランプ大会をして20時過ぎに就寝した。(記：山田る)



CT 長衛小屋 6:20 - 仙水小屋 7:02 - 仙水峠

7:45 - 駒津峰 9:19 - 甲斐駒ヶ岳山頂 11:11 - 摩利支天 12:20 - 駒津峰: - 双児山: - 北沢峠 15:50 - 長衛小屋 16:16

10月8日(月) 天候：晴れ

翌日は5時に起床し、曲さんの昔懐かしい味のラーメンをいただき、早めに支度をしたおかげで始発より早い臨時バスにて広河原へ、乗り合いタクシーに乗り換えて甲府まで向かい、銭湯で汗を流して11時頃、新型あずさで快適に帰宅した。今回は私にとって初めての経験が多く、テント泊、甲斐駒ヶ岳、雷鳥、夜のトランプ大会(大貧民)と大変思い出に残った楽しい山行になりました。ありがとうございます。お疲れさまでした。(記：山田る)